

◆県では、SNSや掲示板など、インターネット上での新型コロナウイルス感染症に関連した誹謗中傷などの投稿を監視する「ネットパトロール」も実施しており、悪質と思われる投稿の画像を保存しています。被害に遭われた人が、削除依頼や訴訟を提起される場合など、被害者の求めに応じ、該当する画像を保存している場合は、その画像を提供します。

◆ご自身でも、被害対策として、書き込みの画像保存や電話の録音、張り紙の保管などをおこなってください。

### 【長崎県からのお願い】

感染者や医療従事者、そのご家族などへの誹謗中傷などは、感染された人が行動歴を隠したりすることを助長し、さらなる感染拡大を招いてしまいます。また、医療体制の崩壊にもつながりかねません。お互いを思いやる心を持って、冷静な行動をお願いします。

長崎県人権・同和対策課 ☎095-826-2585

## 人権相談窓口の開設

長崎県では新型コロナウイルス感染症に関連した誹謗中傷や差別などの人権侵害に関する専門の相談窓口を開設しました。相談員が解決に向けたアドバイスや、内容に応じて関係機関などへ対応を依頼します。

### 相談窓口専用ダイヤル

☎095-894-3184

平日：午前9時～午後5時45分  
(水曜日は午後8時まで)

※ご相談は、原則、電話でお願いします（相談料は無料、ただし通話料は自己負担）。

※ご来庁される場合は、あらかじめご連絡ください。聴覚に障がいのある人へは筆談で対応します。

## 新型コロナウイルス感染症予防・相談窓口

### 来所による相談や医療機関を受診する時のお願い

- まずは、電話でご相談ください。  
直接または複数の病院を受診することにより感染が拡大する恐れがありますので、指示を仰ぎましょう。
- 来所による相談や受診の際にはマスクを着用するほか、咳エチケットの徹底をお願いします。



### 新型コロナウイルス感染症の総合相談窓口

☎095-895-2150 平日：午前9時～午後5時45分

※土日・祝日など休日の対応は、音声案内で対応しています。

音声案内の内容…即日対応可能な「帰国者・接触者相談センター」および「新しい生活様式対応支援補助金申請受付センター」の電話番号が案内されます。それ以外の相談は平日におかけいただくようお願いします。

### 新型コロナウイルス感染症の一般的な相談窓口

●自身の症状に不安がある場合など、一般的なお問い合わせは下記の窓口にご相談ください。

- 厚生労働省相談窓口 ☎0120-565653(フリーダイヤル) 午前9時～午後9時(土日祝日も実施)
- 長崎県 県南保健所 ☎0957-62-3289 午前9時～午後5時45分(平日のみ)

### 新型コロナウイルス感染症がうたがわれる場合の相談窓口

●息苦しさ、強いだるさ、高熱などの強い症状のいずれかがある場合、重症化しやすい人で発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合、それ以外の人で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合など、すぐにご相談ください。

- 帰国者・接触者相談センター 長崎県 県南保健所 ☎0957-62-3289(平日)  
長崎県相談センター ☎070-4223-4371 または  
☎070-2667-3211(土日祝日)

# 新型コロナウイルス 感染症予防・人権相談窓口の開設について

健康づくり課 ☎73-6641

### 新型コロナウイルスとは

コロナウイルスのひとつです。コロナウイルスには、一般の風邪の原因となるウイルスや「重症急性呼吸器症候群(SARS)」、2012年以降発生している「中東呼吸器症候群(MERS)」ウイルスが含まれます。

### どのように感染するの？

一般的には「<sup>ひまつ</sup>飛沫感染」、「<sup>せつしょく</sup>接触感染」で感染します。

### 飛沫感染



感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、ほかの人がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。

### 接触感染



感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。ほかの人がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ることにより粘膜から感染します。

### 予防方法は？



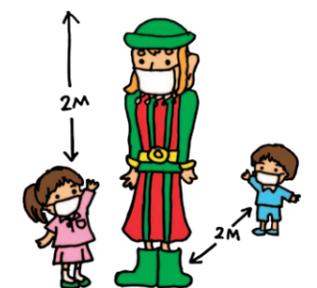
#### 手洗い

手洗いの際は、指先、指の間、手首、手のしわなどに汚れが残りがちといわれていますので、これらの部位は特に念入りに洗うことが重要です。また、手指消毒用アルコールも感染力を失わせることができます。



#### 咳エチケットを心がけましょう

咳やくしゃみをする際は、マスクやティッシュ、ハンカチなどを使って、口や鼻をおさえましょう。



#### 三密を避けましょう

閉鎖した空間で、近距離で多くの人と会話するなどの環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています（WHO（世界保健機関）は、一般に5分間の会話で1回の咳と同じくらいの飛沫（約3,000個）が飛ぶと報告しています）。